

土間のある家

～モデルプランの特徴とメッセージ～

土間のセミパブリックゾーンがあることで、プライバシーが守られるような計画としました。また仲のいいご近所さんと世間話をしたり、プライベートな時間を過ごしたりといろんな活用ができる場とすることができます。軒も大きく出してあるため、開口を開け放てば軒下と一体で空間を利用することも可能です。内部建具は視線は通さず、柔らかい光を通す障子とすることで空間同士を仕切ったり繋いだりと自由に対応できます。

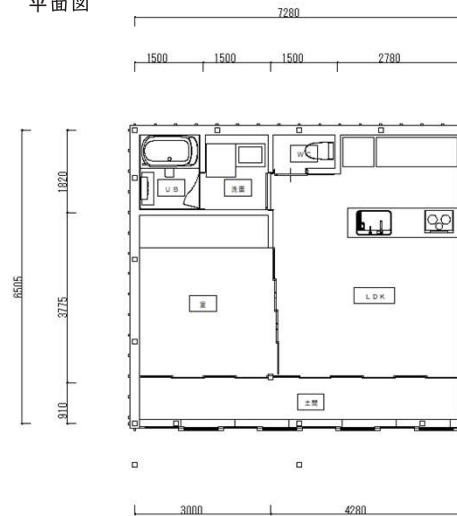
提案プランの概要

構造・工法 木造在来工法
 延床面積・階数 47.35平米(14坪)、平家
 標準工期 6ヶ月
 概算工事費 2000万円(税込)

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、屋外給排水工事費、浄化槽設置費、エアコン、カーテン、移動可能な家具、諸手続き費用、登記費用

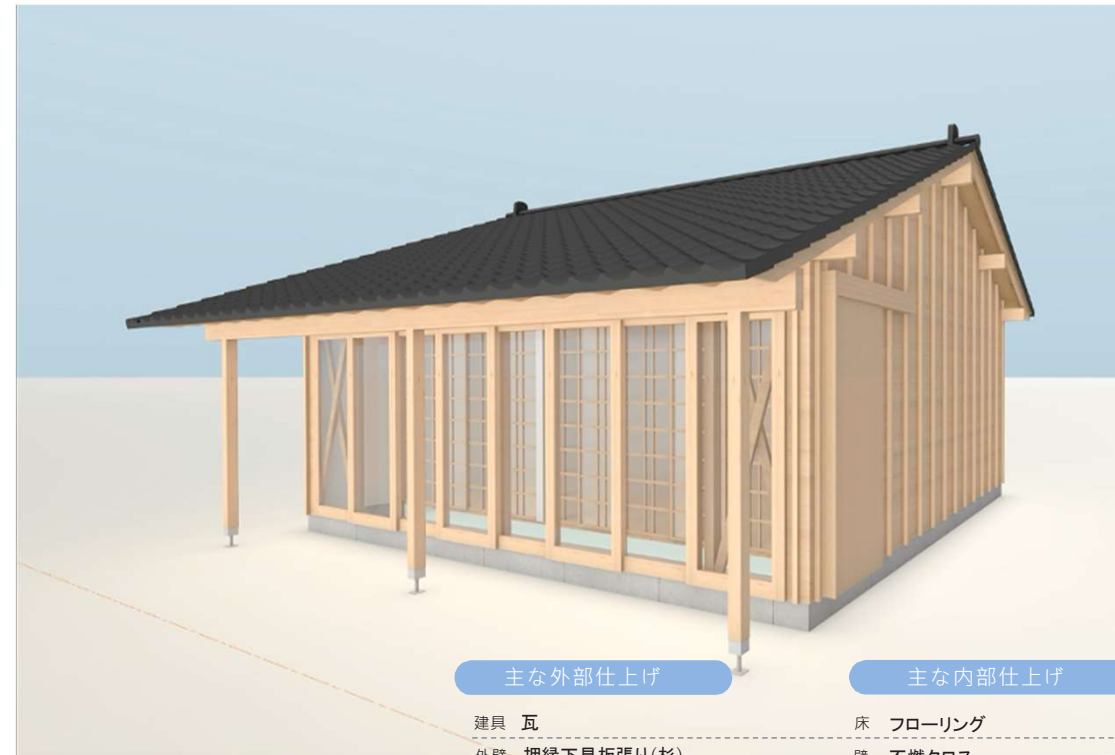
平面図



内観パース



外観パース



主な外部仕上げ

建具 瓦
 外壁 押縁下見板張り(杉)
 建具 障子、フラッシュ

主な内部仕上げ

床 フローリング
 壁 不燃クロス
 天井 不燃クロス

【いしかわ型復興住宅 5つ要件】提案内容

①コミュニティ

土間や大きい軒下空間を設けることで、近隣の方と一緒にお茶したり、おしゃべりしたりと可能性をもせてる計画としました。また大きな開口とすることで外を伺い、気になったりすることで自発的なコミュニケーションを誘発できます。

②景観 (まちなみ)

景観形成重点地区にも計画できるよう、屋根には伝統的な黒瓦、外壁には押縁下見板張とすることで伝統的な景観を継承する配慮としています。

③地域特性

軒の出を大きく取ることによって雨や雪を気にすることなく半屋外空間として活用できます。土間空間もまた日常生活においてサンルームや除雪に必要な物品の置場としても活用できます。構造材は県産材を使用した外壁材とします。

④住宅の 基本性能

安心安全に配慮し耐震等級2以上とすることや断熱等性能等級5かつ一次エネルギー消費量等級6(ZEH基準)とする計画も可能です。土間と諸室の段差は可能な限り低く抑えバリアフリーに配慮しています。

⑤コスト (費用)

廊下のない計画とすることで可能な限り全体をコンパクト化し、内部においては収納になりうる箇所にも建具を設けず、居住後に居住者にてカーテン等で目隠しをしてもらうことでコストを抑える計画としています。

○ 施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表者所在地 石川県金沢市示野町西3番地

代表者 細川 顕司 担当者 佐々木 伊織

電話番号 076-267-8008 E-mail info@hosokawakensetsu.co.jp